

World Evolution Dynamics 2023 – PART 1



皆さん、こんにちは！ミシェル・ニューポートです。

旧暦では1月22の日からスタートする、2023年へようこそ！

今日もいつものように最新の宇宙波動の情報をお届けしますが、今回は、2023年の1年に渡って最も強調してくる波動のテーマを中心にお伝えします。そしてハーモニー・プラネット(以下 HP)の実現にむけて、これらの波動の下、人類全体にとってどのようなことが可能となるのか、

そして今、どの認識拡大の段階にいるのかを見ながら、私達一人一人が何に焦点当てれば、自分の人生や人類全体の進化過程の助けになるのかということも、**数秘術**や**干支**、そして**占星術**などの様々な角度から、「無限レンズ」を通して、一緒に見ていけたらと思っています。

このように、皆さんに宇宙波動の情報をお届けする目的は、私達人類が HP で表す調和と喜びに満ちた世界を、地球上ですでに実現できた段階の認識から、みんなで、一人ひとりの使命に沿って、日常生活を生きる為のサポートです。それによって、本当の調和と喜びに満ちた地球社会創りの道がますます楽に、そして具体的に見えてくるでしょう。



この認識状態のことを、私は、「無限レンズ」としてまとめています。このレンズは1996年末に鮮明に見た、HPと名付けた地球未来のビジョンに導かれてまとめたもので、全面的に活かせば、存在する全てとの一体感を常に一つのエネルギーとして実感しながら、各自の使命も同時に、マルチ次元的に経験できるものです。その認識状態の表れは、「コスミックマインド・グローバルハート・ローカルアクション」とも言います。



コスミック・マインドは、存在する全てはどう関係しあっているのかということを見通せる実感から、3次元世界で経験する全てを生み出すマルチ次元的な宇宙認識です。

グローバル・ハートは、共通の価値観を通して人類全体の世界観や気持ちを各自の使命から、自然に理解できるハートを実感しながら、全ての人間関係において、みんなの無限の可能性と力を導くように生きることです。

そして、ローカルアクションは、まず、日常生活を中心に、固有のキャラの自分が今いる身近な環境で、心からやりたいと感じる中で、「できること」から行動することです。

今日お届けする宇宙波動は、地球上に存在する全ての人々が共通して経験するものですが、その共通波動をどの認識範囲から経験するかによって、それぞれの感じ方や表現の仕方が全く違ってきますので、よりその区別を付けやすいように、時には「有限レンズ」的な解釈と「無限レンズ」的な解釈を対比して話します。ただ、大切なのは、どう解釈されても、間違いはありません。それぞれの使命のタイミングやテーマも優先せざるを得ない宇宙の仕組みになっているので、とにかく、皆さんが目立って感じる情報が、今、受け取るべきものだと思うし、その直感にしたがって活かしていただければと思います。

約200年も続く**風の時代**の第1歩を踏み出したばかりの人類にとって、2023年は、特にこのような HP 認識の土台を創るために、大切な一年だと思います。そして、このようなメッセージは、私からそれを一緒に実現したいと感じる皆さんへの呼びかけでもあるので、それに響く方は、どうぞ最大限に活かしてくださいね。



では、一月に強調する惑星の波動と共に、2023年の土台となる宇宙波動を見てみましょう！

【干支】

まず、干支で見ると、2023年1月22日が旧暦の元旦で、人類全体で感じられる波動が「癸卯年」になります。去年は、壬寅年だったので、2022年と2023年、いずれも「水」の要素になる為、色々な意味で、新たな「流れ」を生み出すことが大きなテーマになってきます。2022年の場合の「水」の要素は「陽」の波動であり、「寅年」でもあったため、洪水や台風などのような突然で、劇的な出来事を通して経験することが多くありましたが、2023年の「水」の要素は、「陰」の波動であることと干支が兔なので、同じ「水」の要素であっても、今年はずっと「静かな湖」のようなイメージが浮かんできます。ただ、湖の深い所には、たくさん隠れているものがあるという意味も表しますので、



今年の干支である兔という動物は、どんなことが真実として表面化してきても、常に安心できるように、コミュニティ全体で対策を準備していることの大切さを表します。



現在、日本も含め、世界ではこの数年の超過死亡者数が極端に増えています。また、同時に流産や出生率の低下も目立っています。その原因については、徐々に明らかになっていますが、これまで私達が信頼してきた政府や世界で圧倒的な支配力を持つ組織、例えば、WHO や WEF などが一般メディアや SNS 経由で世界の問題として掲げてきたもの自体に多くの嘘があることやこの数年のコロナ対策における様々な制限、また、予防とされる注射や治療として使われる薬の人体への影響、さらに接種するか否かで生まれた差別や偏見などによる社会的、精神的な影響など、今後、ますます多くの人に知られていくでしょう。

ですから、そのことから生まれる結果に対しての心の準備と、今後、大きくショックに感じることを経験しても、一人ひとりが感情的に自立し、日常生活を維持していくための物理的な準備を、今から押さえることが大切かと思えます。



「癸卯年」は、占星術にある蟹座の波動と響き合うところがあり、家族や自分の居場所を大切にします。2023年は、いろんな意味で回復の年になるでしょう。特に壬寅年の出来事からの癒やしをしっかりと押さえる一年です。例えば、具体的には金銭的な被害や感情的な不安定さが極端にあった昨年から、今年は、土台を取り戻し、安心できる場を作ることが目標です。生まれた年は、皆さんそれぞれ違いますが、五行でみると、「水」は「木」を成長させるので、特に木の要素の生まれの方は、2023年の波動を栄養に感じる可能性が高いでしょう。

また、全体的には、2022年に比べたら、劇的な変動が少ないけど、色々な意味でスラスラと流れる波動の年になると思います。人生を振り返ることから知恵が生まれるような波動が強くて、自然にバランスが取れた日常生活が比較的、創りやすい波動です。



その中で特に自分が最高に感じるコミュニティを見つけることがとても大切な年になるでしょう。2022年は、寅年で、トラ達が大きな声で叫び合っているような年でした。トラという動物は、縄張りが強く、人間に置き換えると、自分か他人という競争心と個人主義に基づいた有限レンズ的な認識だらけで、特に勝ち負けの世界につながる形で表現されることが多かったです。

でも、2023年は、卯年になり、去年の波動がころっと変わって、存在する全ては、一つの生命力を通して、常に影響し合っている、無限レンズ的な認識を導く、共感できる気持ちや思いやりある水の性質が生まれる年です。

兔の場合は、周りのコミュニティや人のいうことを聞き入れて、話し合いをする波動です。聖なる女性性の落ち着いたイメージで、リラックスする余裕がある波動です。そして、辛抱強く、コツコツとやり続けられる、頑張る精神もあります。あと、近所のみなさん同士でも助け合いたい、協力しあう気持ちも生まれる波動でもあります。





ですから、**卯年**になると、優しくなる余裕が生まれるため、創造力も生まれ、コミュニティとして活発に動くことで、みんなの助け合いを通して達成していく流れが強くなるでしょう。個性を出しやすい波動でもありますので、ユニークさを楽に、楽しく表現しながら、自然に貢献できるコミュニティを見つけるようにお勧めします。そして「今」に存在するのに、とても力になる波動です。特に2025年と26年辺りから、世界経済や社会構成において、

昨年以上に極端な変化が見られる可能性がとても高いと思うので、今年は、とにかく、今に存在しきって、しっかりと心**の安定とコミュニティとのつながり**の土台を作り上げることが大切です。

それから、占星術からすると、この兎を支配すると言われる惑星が**海王星**です。ですから、今年は、**海王星と魚座**の性質が感じやすい波動で、精神性が強く、魔法のように感じる直感力と創造力があふれる年です。人によっては、芸術やクラフトの表現が豊富になるかもしれません。そして、直感力や超能力と言われるような精神的な力に目覚めやすい波動でもあります。



ただ、その裏を返せば、恐怖に陥ったり、迷いを感じたり、依存関係にハマりがちなところやだまされやすい波動でもあります。極端な場合は、食べ物や飲み物、そして様々な「物」への執着も出やすい波動なので、頭の中に流れてくる「**内的実況解説**」をどのように活かせば感情的な安定感を導くことができるのか？というような方向をつける問いかけを活かして、兎の賢い思考の動きをマスターすることが特に鍵となる一年です。

これまでは、被害者や恐怖に陥った人生の部分においては、「すべてを作り上げている、何があっても、揺るぎない使命感を感じながら、楽しめる自分から生きる確信」に変容することです。

BE THE CHANGE!

ガンジーの有名な言葉で【**あなたがこの世で見たいと願う変化に、あなた自身になりなさい**】というものがあります。

卯年の波動を無限レンズで解釈するとその活かし方になります。誰か次第、誰かを待っているのではなく、一瞬ごとの解釈を通して100%の力を自分に取り戻し、目指している人生経験を改めて明確にして、必ず経験するように注意することです。そうすれば、**卯年**の1年間で個人レベルでも、人類のレベルにおいても、大きなターニングポイントになるようなことが非常に作りやすい波動です。

ですから、**2023年**は、できるだけ早く安心しきって、**今に100%存在し、感じきる力を復活させることで、内なる知恵につながる宇宙法則を意識的にマスターできる自分を思い出すこと**です。

その中で、次の力になる問いかけを、日常的に自分に対して行うことがとてもおすすめです。

- ～もし、問題に感じるが出てきても、必ず解決出来る実感から生きていくと、どんな生き方になるのだろうか？
- ～もし、常に安心しきって生きていけば、様々な人生経験をどのように解釈しているのだろうか？
- ～もし、力が常に湧いてくるような意識の置き方を常にやっていたら、どの様に意識を置いているのだろうか？

それから、もし、自分やみんなの生き甲斐となる「使命」を常に優先した人生を生きていけば、～どのようなことを優先するのだろうか？

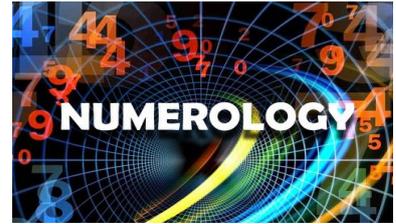
- もし、やらなくなることがあるとしたら、それは何だろうか？
- ～最も信頼できる、優先する付き合いは誰なのだろうか？
- ～最もやり甲斐のある、頼りになる仕事は、いったい何だろうか？

まだまだありますが、特に嵐のように感じることだらけの時期となる可能性が高い2025年と2026年を経験する前に、このような問いかけを日常の習慣として取り入れて、意識的にマスターすることによって、これまで自分の「外」に感じていたことや「外」に探し求めていた何かの「正しい答え」などに頼るのではなくて、内側にある揺るぎない安定した気持ちに頼るようになるので、そうすると、それは、柔軟性や創造力にあふれる、**卯年**の波動の最も力になる活かし方になるでしょう。



【数秘術】

数秘術という分野では、今年は、世界的に「7」の年のテーマになります。「7」の年のテーマをキーワードで言うと、真実を迫及する、学び続ける、研究や分析する。内面的、精神性、直感力を強める、生徒であり、先生でもある波動で、神秘主義者として科学的な認識と精神的なマスタリーを統一することで知恵深い自分から生きる波動です。ですからこれらの波動を通して認識拡大、自立、自給自足が全部7の数字で強調されます。



また別の表現で言うと、ハートと頭、両方とも取り入れながら、統一して生きることです。どちらかではない、理屈と愛を上手く保った形で活かせる波動の数字です。日常生活を通して研究や実践をしながら、哲学的な認識拡大とか色々な細部認識がより簡単にできる波動です。ある意味では、内面的なところが強い為、それ程コミュニティと関わりたいような、社交的な波動ではありません。

自分のスペースをしっかりと取る波動が「7」にはあるので、そう言った少し孤独なところがありながらも、奥には、宇宙法則や人生の流れに沿ったあり方を優先する数字であるため、自然界と繋がりを強く感じられる波動です。ですから、「7」の数字の年は、直感力を強めながら、使命を意識的にマスターするための内なるGPSを明確にするのに最高の波動になります。

結局2024年からは、8の年になり、特に権力闘争やお金などを通して、物質世界を完全に変容させるようなところに焦点が当たり、それ以降の3年間もグローバル社会の完全な変容のための強力な勢いになるので、その前に、今年は、存在する全ての栄養となる、しっかりとした精神的な土台を安定化することがとても大切だと思います。

では、その意図を持って、「7」の波動を最大限に活かすために、どうしたらいいのだろうか？

- 1)「今」に存在することを意識的にマスターすること。充電しながら、固有のキャラを客観的に観察し、安定した気持ちの状態を自然に生きることにつながる認識拡大ができる余裕を意識的に作る。
- 2)これまで直面しにくかった「真実」を正直に向き合いながら、何らかの形で無力に感じていた事情を見直すことで、その経験を変容できる力を100%自分の中に取り戻すために問いかけを活かす。
- 3)長年、持ち続けてきた心の傷や有限レンズ的な限られている解釈を手放し、完全である自分や世界経験をしっかりと経験できている意識の状態を土台にする。
- 4)宇宙原理や直感力を、日常生活を通して実験しながら、無限の力から生きる人生を築く。
- 5)自然の一部として、常に流れに乗った感覚から人生を生きるように心がけること。
例えば、瞑想や運動を増やし、電子機器から定期的に離れ、自然の中で休憩し、充電すること。



占星術的に見ても、「7」の数字の波動が面白い形で2023年の土台の一つとしてかなり強調します。



それは、2022年の10月以降は、満月が7つ連続で各星座の16度で行うことです。12星座の一つ目である**牡羊座**から順番に、**牡牛座**、**双子座**、そして2023年1月は**蟹座**にあつて、2月は**獅子座**、3月は**乙女座**、そして最後に、7つ目の星座となる**天秤座**で行う、4月の満月まで続く現象です。1+6度の数字を足すと=7。

1は、個人の道を開拓し、一つの方向に向けて、自分次第に責任を持って積極的に行動起こす、「個のアイデンティティ」を土台にしたリーダーシップのテーマが強調する波動で、やり遂げるパワーが強い。

6は、**卯年**の波動に共鳴するもので、個人の目標よりもコミュニティ全体を大切にする、ハーモニーとバランスが取れた安全な生き方をもたらす意図で、みんなが元気に成長できるように栄養を注ぐ波動です。



足すと:7になり、自分とみんなのことを認識した上、はっきりした意識で優先することを明確にできる波動。ですから、この7ヶ月間に渡って行くこれらの波動を通して、私達が大切にしていることを支持する形で、心からやりたいことを明確にし、世界の貢献となる、使命を感じることを思いっきり務めるようにできるための機会を、見事に得られるようになるでしょう。



また、それぞれの数字に当たる星座のテーマで見ると、**牡羊座**が一番目で、**天秤座**が7番目に当たります。**天秤座**で強調される波動の中で、全ての人間関係における平和と調和なので、夫婦関係から、家族関係、そしてビジネスにおけるパートナーシップや人類全体との関係性までも含まれます。**牡羊座**で押さえる固有の自分との関係がしっかりと健全なものとしてできて初めてハーモニーにあふれる他人との健全な関係ができるようになるので、全ての関係性におけるこれらのパターンに気付くために、この7ヶ月間に渡っての認識拡大を助ける満月の波動を通して、自分達に与えていると言うことですね。言い換えると、全ての人間関係を「マルチ次元的な認識」から生きる自分達を育てる時期としてとても、活かせる波動です。

これらの波動をはじめ、2023年は、これまでの特に3年間で経験してきた波動と大きく違ってくるところがあります。これまでの3年間は、特に**冥王星**と**土星**と**木星**の関わりや**土星**と**天王星**、そして人類の共通の運命を指すと言われる**北ノード**と**南ノード**が**牡牛座**と**蠍座**にあったため、色々な段階を通して、これまでの上下関係の社会や自然法則と切り離れた、有限レンズ的な認識の社会づくりと金融システムなどを劇的な出来事を通して崩壊し、長年に渡り、隠れていた、信じ難い事実を表面化しながら、最終的に破壊する意図で行ってきた訳です。でも2023年は、これらの長い周期のある惑星が新しい星座に移ることと、「7」の数字の波動でアクセスしやすくなる認識の鋭さを意識的に活かせば、これまでに表面化してしまった事実による現状に対応できる知恵深い視点から生きると同時に、色々な意味で、何もかもが比較的、とても早く、なめらかに進むように感じる一年になると思います。



そして、「新しい始まり」の波動がますます強く感じるはずです。それは、まず、昨年からお伝えしている、11月の**射手座**の新月を始め、2023年3月の**牡羊座**の新月までの、5ヶ月間に渡って行く新月が、連続で、それぞれの星座の一度で行うという現象から見られます。それから、**土星**や**冥王星**、そして**木星**という、世代や時代のテーマを定める惑星が新しい星座に移りますので、初めてのように感じる波動が多くなるでしょう。

それから、ハーモニープラネットのような世界の波動を表す「ニューアース」の実現の力が豊富にあると言われる、「**マンウエ**」という小惑星は、地球を一周するのに、約289年もかかります。そして、それは2023年の一月末に12星座の一つ目の星座である**牡羊座**に移り、約20年間も、**牡羊座**の波動を活かして私たち一人一人の生きがいに感じる使命を通して、「ニューアース」を実現するための認識を生きるようにサポートしてくれる波動です。その中で、特に3次元世界の全てを自分で創造する「ソース認識」を導くように刺激を与えてくれます。その上に、**月のノード**が位置する星座も今年変わること、また1と7の数字と**牡羊座**の波動で表す新しい始まりの波動がさらに強調します。

では、今から最も強調する「7」の波動を活かし、マルチ次元的な認識拡大と共に3次元世界の実現の過程への理解を深める意図で、まず過去の波動のテーマや出来事の流れを少し振り返りながら、今年から始まる、時代の大きな変化につながる惑星の移動による波動の変化について見てみましょう。



～「時代の変化」につながる、長期に渡って意識すべき惑星の波動～

* 山羊座を通過する冥王星や他の惑星～社会構成の完全変容 *

山羊座を通過している～冥王星は:2008年～2024年まで。(2023年3月24日～6月12日以外)

山羊座を通過してきた～土星は:2017年12月～2020年12月まで、そして

～木星は:2019年12月～2020年12月まで。



まずは、**山羊座**のテーマには、公共機関や物事の運営システムなどの社会構成と構築があります。無限レンズ認識で活かすと、精神的な発想を物質化する力を表す星座で、各自の使命に沿って役割分担で全ての関係が可能なものですが、有限レンズ認識で活かすと、精神世界と物質世界が分離していて、階級制で決まる上下関係の経験が多い。そして**冥王星**は、どの星座を通過するにしても、その星座の「影」となる、有限レンズ的な認識で活かしたところを完全に変容するために表面化する影響のある惑星です。

2008年から**山羊座**に位置する**冥王星**の役割というのは、これまでに築いてきた社会構成から、これからの黄金時代に合った社会構成を生み出すために、今までの有限レンズ認識で作ってきた権力の階級制に基づいた社会システムを破壊し、存在する全ての栄養となる社会構成を作る人類の意識の拡大につながるきっかけとなる出来事や刺激を提供することです。

実際の出来事を見ると、2008年に発生したGFC(世界金融危機)を始め、政府や銀行などが国のお金を国民が意図しない形で勝手に扱ってきたことが知れ渡り、さらには国民を無力にしてきた様々なシステムや法律の裏が明らかになりました。このように、それ以降も、**山羊座**に位置する**冥王星**の役割は、過剰な権力を持つ政府や大企業、そしてお金の動きや世界の金融システムを完全に支配する、WHO や WEF などの組織が実際に行なっていることも表面化することです。そして、様々な信じ難い事実を表面化することで、国民や人類が長年、無意識的に抑えてきた感情、特に強い怒りや無力感などが、無視できなくなる事情を起し、最終的にそれらの全てを完全に変容できるほどの自立した精神や無限の力を取り戻す機会を私たちに与えること。この過程の最後のクライマックスは、**2023年6月12日～2024年1月21日**の期間で行います。

そして、**土星**と**冥王星**の重なりは33年～38年おきにありますが、この惑星の組み合わせがどの星座のテーマに重なるかによって、響く波動がかなり違ってきます。2020年1月に、**土星**が、約500年ぶりに**山羊座**で**冥王星**と重なる波動は、結果的に歴史を変えるほどの形で経験しました。**土星**は、無限レンズの認識で活かすと、3次元世界での現実化の力となる「形付ける原理」にアクセスしやすくなるのですが、有限レンズ的な「限られた認識」で経験してしまうと、自分の人生において、制限されているように感じるどころや流れていないように感じる事情が一気に強調してくるようになるきっかけを作る惑星として経験します。そしてそれが、「政府や大企業、そして階級制に基づく社会の構成や権力」などの、これまで人類や社会で隠れてきたところまでの完全変容に焦点を当てる**山羊座**に位置する**冥王星**のテーマとも重なったことで、占星術の業界では、数年前からこの時期には、人類全体が極端に制限されるような劇的な出来事として現れるであろうと言われる方が多かったです。その波動が結局、コロナのニュースで発生し、その対策による制限で生じました。



* 全てを拡大する原理を表す木星が加わると? *

さらに2020年、全てのエネルギーを拡大する**木星**も同じ**山羊座**に入ってきたことで、コロナの事情自体が極端に拡大され、ワクチン接種を強制的に導入する流れにまで至り、危険な「パンデミック」として扱われるようになってきたわけです。

この**木星**と**土星**と**冥王星**が**山羊座**に重なったのは、千数百年以来なので、この組み合わせによって、徹底的な社会構造の変容はしばらく続くでしょう。



特にこの数年間も SNS やニュースなどを通して、人類の何割かが罹ってしまった催眠に対して、**木星**のテーマでもある法律や被害を受けた方に対する正義などの話題も、増えてくる一方でしょう。

* 地球社会の金融システムや自然との関係を脱皮する刺激～**牡牛座**を通過する**天王星***

これらと同時に、2018年から2026年まで**天王星**が**牡牛座**を通過することで、**牡牛座**のテーマである「お金や物の流通、資源の扱い、自然界との関係性や価値観、自然の周期にチューニングしながら生きる生活の範囲、富の分配、存在価値や価値観の基準、大切に感じることは何なのか、食料供給、仕事の表現、エネルギーと時間の扱い、農業や財産の扱い、地震や異常気象のパターン、自然法則や環境問題など」に対する劇的な意識の変化が見られます。



* 社会システムがさらに脱皮する刺激～**水瓶座**を通過してきた**土星**と**牡牛座**を通過する**天王星***



2021年の主なテーマの一つが**水瓶座**を通過している**土星**と**牡牛座**を通過している**天王星**の緊張感でした。合計3回も続いて関わったので、かなり劇的な波動の影響がありました。2022年には、強く関わることが10月に一回だけであったため、これらの緊張感からの影響が現在はなくなりましたが、経験してきたことが今後の社会づくりに向ける意識や認識の土台となるので、これらのテーマを今のうちにより意識的に理解すること

がとても役に立つと思います。**天王星**はカオスの神様とも言われ、**水瓶座**を支配する惑星であるため、全く新しい、ユニークな発想が生まれるように常に意識の進化につながる刺激を与える惑星です。その**水瓶座**に**土星**が入ってからは、私達はその波動を無意識的に使っていた限りでは、最初、今まで使ってきている法律や政府の強制的な支配などを守り、革命に抵抗する表れが多く見られたと思います。しかし、2022年の途中から、様々な出来事を通して人類がますます、自分達にある力を思い出し、本当の調和に満ちた人類として生きる、みんなは平等で、存在するだけで価値がある、というような無限レンズ的な考え方に基づいた法律や政府機関の構成を構築できる意識から生きる人や団体がさらに形づいて来たわけです。

道徳 Vs 従順



結局、自由や、みんなは平等であることを大切にする**天王星**の波動では、選択できる力が自分の中にあるが、限られた認識で**土星**の波動を使うと選択できる力が自分の外にあるように感じるし、規則や制限に縛られる経験が多い。今のオーストラリアでは、その自信の無さをうまく利用して、会社や学校、入院している家族や知人のお見舞い、そして様々な公共の場を利用するのにワクチン接種が必要だという指示を今でもまだ法律として通そうとしているところがあります。中には、その指示をすでに実行しているレストランや他のビジネスなどがありますが、認識拡大をして来ている人が増えたため、これらに対する裁判も現在では行われ、変化しつつある段階にやっと入りました。



歴史を見ると、このようなファシズムを表現している国が世界に多く見られるのが、**天王星**が**牡牛座**を通過する時です。前回は、第二次世界大戦の時期(1934年～1942年)と重なり、ヒトラー、ムッソリーニ、スターリン、そしてスペインのフランコという独裁者が、進化したテクノロジー(武器や洗脳する技術に関する知識)を使って、それぞれの国を支配するようになった。現在は、WHO や WEF、そして特にアメリカのバイデン大統領と公共メディアから出てくる指示とかを見ると、同じような技術を



明らかに使っているのです。2023年の波動を、いかにこれらを展開するように積極的に活かすかが、最も大きな課題となるでしょう。遅くとも、2026年まで、存在する全ては自然の一部であるという自然法則から生きる社会を作る認識にまで人類が目覚めるように行動起こすことがとても大切だと思います。現段階では、**水瓶座**に通過してきた**土星**の波動を人類の自給自足の権利を取り戻すように使い出している人や画期的な団体が増えつつあるので、PART II でお伝えする2023年の3月から**土星**が**魚座**に移ることが本当に楽しみです。